

すくらもろち通信

島根県雲南市と奥出雲町にまたがる、尾原ダム・せくらおろち湖周辺の、里山と自然とそこに暮らす人の営みを元気なものでしていくNPOの情報発信紙です。

第59号

発行所▽NPO法人すくらもろち
〒六九九一-二三四二
雲南市木次町平田七七九一
☎〇八五四・四八・〇七二九

育つものは待たぬばならぬ

「あの感動はいまでも忘れない」。田中初恵さんは、70年前の講話、その加藤敏一郎の言葉を、語ってくださいました。農村がなりたつことの一番の基本は人が育つこと。つくることでも育てることもない。だから自分の心に忠実に生きなさい。あなたがたは芽であると。

奥出雲の山村まるごと体験事業のなかのひとこまです。「あなたは待てますか。ほんとうに待つと言うことを知っていますか」……時代をこえたその問いをかみしめながら、3回にあたって実施した「田舎暮らし体験」を振り返ります。

中山間地域の新たな暮らしの可能性

奥出雲の山村まるごと体験は今年度の「しまね暮らし体験プログラム事業」として、ふるさと島根定住財団の助成を受け、2月から3月にかけて計3回、各回1名を受け入れて実施したものです。

参加者は20代女性が2名、30代男性が1名。居住地はそれぞれ広島県広島市、東京都板橋区、神奈川県横浜市です。

事業の目的は、県外からの参加者が、中山間地域がもつ新しい「暮らし」の可能性を発見することで、移住や交流の流れを促進すること。さて、今回はどこまでできたのでしょうか。ツアーではなくひとりでも参加できる随時開催型としてははじめての取り組みでした。本源的に

は数字や形に見えにくいものを追いかけるものといえます。人はなんのために生きるのかを問うような。やや粗雑に言えば、個人が生活の場として農山村を選ぶ理由、国として農山村を保全する理由、その答えを見つけることです。

だれもができることを積み重ねて

さて、取り組んだ「体験」は多岐にわたります。ほだ木の運搬、牛の世話、味噌づくり、古民家の手入れ、こんにゃくの灰汁づくり、黒豆の選別、蕪の選別などなど。

身体を動かして感じることで、そこから考えることを大事にしました。心にずしんと響いた言葉がいくつもあります。

「衰退していく農山村の有り様を語り続ける88歳の爺ちゃんにどついたらよいのかをきいてみたところ。」

「そんなものはない。やるかや

▲移住5年目の農家での体験。



らないか。それだけだ。やるならちゃんとやれ。本気でやれ。頭を使い。ものをよく見ろ。山も、土も、道具も、水も、市場も」足りないのは覚悟じゃないのか、おまえさん。鋭い眼光でそう睨まれた気がしました。

若い農家さんのところで、豆の選別作業をしながらの言葉。

「大きくないと動かないシステムに移行してしまった。山村はだれもができる小さなことの積み重ねでやってきた。だからひとりひとりが大切に大事」

これ、じつはとても長いお話のごく一部です。(裏面へ)



▲小学校の教員をめぐす広島の大学生。生きる力を子どもたちに、そのためにはまず自分が山村でその力をつけたいと、参加。



▶食の杜・忠庵で戦前戦後の生きた記憶を語る田中さん。

【豆コラム】大山祭り・大山登りと呼ばれた木次の春の山入り。4月24日は学校も職場も午後休となり、大山の見える山に牛を連れて登り、ごちそうを食べ遊んだのだといひます。

【豆】「ミラム」『出雲国産物名産』にあった謎の作物、「熊子(くまご)」探しは続いています。先日取材したなかでは「粟と熊子は違うもの」という証言が多数。詳しくは「奥出雲山村塾」のページにて。



▶こんなにやくをつくる灰汁づくり

「全員が一致しないとものごとが決まらない田舎って変だ」という女子大生に答えた、長い長いお話です。そうではあるが、そうでもない。複雑な世界を単純に考えすぎないでねと。そういうことです。

最後に冒頭の加藤敏一郎の言葉で思い出したことがあります。「育つものは待たねばならぬ……あなたは芽である」。どこかで聞いたと思えば、昨年6月の焼き畑の講演会で配布した資料の中にもありました。姫田忠義氏が語っておられます。

農山村の民俗を映像に記録しながら、いま、そこに生きていく人がいるということ、全身

で引き受けて、向き合っている。農山村で、失われていくもの…、現に消滅していくもの…、そんなものを見続けていると、喪失感だけが募っていきがちですが、姫田はこう言います。

「あなたがいる以上そのことを考える必要はありませんでしょう。あなたが芽だから。あなたががしっかりとすれば、まわりにはひとりふたりと増えてくるんじゃないでしょうか」

そこに生きてしっかりと暮らしていくこと。大事なことはそれだけなのだと思います。語ることより聞くことを。つくることより見つけることを。ですね。

4月の行事案内

- ▼4月2日(土)～3日(日)・さくらおろち湖レガッタ：島根県ポート協会主催・さくらおろち湖ポート競技コース
- ▼4月15日(金)～16日(土)・中国高校ポート選手権島根県予選：島根県高体連ポート専門部主催・さくらおろち湖ポート競技コース
- ▼4月17日(日)・さくらおろち湖ロードレース兼島根県自転車競技選手権大会：島根県自転車競技連盟主催・さくらおろち湖

ち湖自転車競技コース

4月24日(日)
第4回さくらおろち湖トレイルランニングレース

今年で第4回となりました、さくらおろち湖の野山を駆け巡る大会です。27kmのロングコースはポート競技施設を8時にスタートします。主催はさくらおろち湖トレイルランニングレース実行委員会(参加申込みは締め切られています)。

さくらおろち湖ウォーク大会 参加者募集中!



5月15日の開催です。申込み締め切りは4月30日まで。詳しくはウェブをご覧ください。

そのほか春の情報は
こちらから!

さくらおろち

検索

- ☆ さくらおろち湖周辺を100%楽しむサイト
- ☆ さくらおろち facebook ページ
- ☆ さくらおろちのブログ



★会員募集

私たち「NPO法人さくらおろち」は、尾原ダム周辺の自然環境や伝統文化や施設といった地域資源を活かし、様々なイベントや地域活動に取り組んでいます。そして、斐伊川水系の上流域を拠点とする団体として、流域圏における交流と絆づくりを進めているところです。当法人の活動にご賛同いただき活動を支援していただける会員を募集しています。

正会員▽当法人の総会において議決権を持ちます/入会金1000円・年会費2000円。
賛助会員▽活動を財政面から支えてくださる会員です/入会金1000円・年会費1000円。
▼NPO法人さくらおろち事務局までお問い合わせください▼
雲南市木次町平田779-11・
☎0854-48-0729

